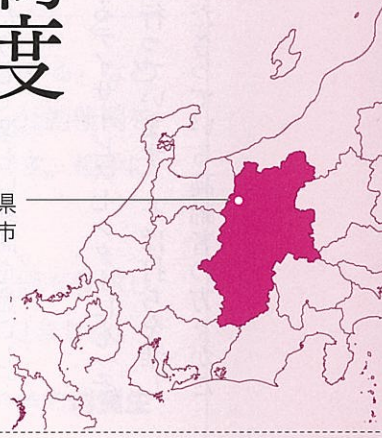




孤立を防ぐ、市老連の個人会員制度

長野県
大町市



長野県 大町市老人クラブ連合会

● クラブ数 32クラブ ● 会員数 1818名 (男性816名、女性1002名)

休会した単位クラブや脱会したクラブの会員から、以前のように大町市老連の事業などに参加したいという要望を受けて、平成13年に「賛助会員」という形で「個人会員制度」を取り入れました。

平成18年には、会則に「老人クラブ未組織地区等で、本会の趣旨に賛同する者は『個人会員』として市連合会の活動に参加することができる」という個人会員制度を明記して、制度化しました。

個人会員制度の内容

現在、個人会員として登録した高齢者は、教室活動と呼んでいるサークル(編物・和紙絵・短歌・カラオケ・わら工芸・健康教室・社交ダンス)と、市老連事業(シニア水中運動・ノルディックウォーキング・マレットゴルフ・ゲートボール・体育祭・研修旅行等)に参加して、交流を深めています。

- 個人会員は、いつでも加入でき、1年更新です。
- すべての市老連活動に参加できます。
- 会費は年額千円です。(因みに単位クラブ会員とができた。

制度導入の経緯

長野県の北西部、松本平の北に位置する大町市は、豊富な温泉にも恵まれた四季を通じての山岳観光都市です。65歳以上の人口は9884人、高齢化率は34%で県内19市の中で一番高くなっています。

大町市老連では、休会や解散するクラブがあるなか、所属するクラブを失くした高齢者が、直接市老連に個人会員として登録して、活動を継続する制度を実施しています。

この制度は、後継者がいないため仕方なく



わら工芸教室

は、郵送による個人対応で行っています。

が市老連に収める会費は一人3000円です。

市老連の事業等については、事前に市の広報誌、マスコミを活用して市民の参加を促しており、さらには個人会員の口コミ等により募っています。

個人会員の現況

現在、教室関係では73名、教室以外では19名、計92名の個人会員が活動しています。小さな単位クラブ二つ分に相当し、参加者は少しずつですが年々増えています。

また、わら工芸教室、短歌教室では、市内に留まらず近隣市町村の方も会員になって活動に参加しています。

会費の徴収、配布物(老連だより、各種行事参加案内等)については、教室関係については教室代表者に、教室以外の方々に



シニア水中運動



ノルディックウォーキング

- 個人会員の感想等を紹介します。
- 旅行に行きたくても「何処へ行けばいいかわからない」「連れがいない」ことがあるが、市老連が主催してくれるなら「安心して行くことができる」。
- 積極的にマレットゴルフ、シニア水中運動、ノルディックウォーキング等に参加しているが、単位クラブが市老連から脱会して行事に参加できなくなり寂しかった。個人会員制度を知って登録をして、以前からの知り合い皆から声をかけられて楽しく活動することができた。

今後の課題

「個人会員」は、もともと解散クラブの会員や他地域から移転してきた高齢者の孤立防止を視野に入れて設けられたものであり、その役割は果たしています。

しかし「個人会員」は「単位クラブ」として助成制度を受けられない状況にあり、市老連の会員が年々減少しているなかにおいては、個人会員の増加のみでは市老連の組織力を弱めることにもつながる心配があります。

今後、願わくば会員はもとより、単位クラブ会員と個人会員が協力し合って、単位クラブの復活、新規クラブの設立につなげていきたいと考えています。

(事務局長 唐木修)

